

24-2 ウエペケレ

「アレヘ パシクルイワ」

カラス山という名

語り：黒川てしめ

パクノ ニシパ イサム ニシパ アネ ワ アナン ペ ネ コロカ

pakno nispa isam nispa a=ne wa an=an pe ne korka

これほどの長者はいないほどの長者で私はあって、暮らしていたのだが

トゥ ポ アウココロ イネ アナン。

tu po a=ukokor h_line an=an.

二人の子どもを持っていました。

カ…… (?) オラ アコロ ソンタク^[1] パロ アオイキ カ キ ルスイ クス

ka...(?) ora a=kor sontak paro a=oyki ka ki rusuy kusu

そうして、私の子どもを養いたいの、

コロ…… アコロ イシカラ プトゥ タ

kor... a=kor Iskar putu ta

石狩の河口にある

エアラキンネ りょうば ピリカ イタク^[2] (?) キ プ ネ アクス

earkinne RYOBA pirka itak ki p ne akusu

漁場は非常に良いと言う話で、

オロ タ サナナクシ コント アイエイワンケ ワ

oro ta san=an akus konto a=i=eywanke wa

私はそこに降りていき今度、私は雇われて

ネプ カ アコロ ソン ウタラ アイクラ ポカ キ カ エアイカプ ノ ハワシ ワ

nep ka a=kor son utar a=ikra poka ki ka eaykap no hawas wa

何も私のいとし子たちに送ることも出来ないという話で、

ネプ カ アポ…… イクラ ヘネ キ カ ソモ キ ノ アナナコロカ
nep ka apo... ikra hene ki ka somo ki no an=an a korka

何も送ることが出来ずにいたけれども、

シネアンタ コント ヤイキラレアニネ エカニネ アウニ タ エカン
sineanta konto yaykirare=an h_ine ek=an h_ine a=uni ta ek=an

ある時に今度は逃げて、私に来て、家に(戻って)来た。

トゥ ポ アウココロ ワ イキアニネ ア プ、
tu po a=ukokor wa iki=an h_ine a p,

私は二人の子供を持ち、そのようにしてたが、

タネ ネ ワ…… オケレバ^[3] (?) エカン ア
tane ne wa... okerpa (?) ek=an w_a

もう、仕事を終えて (?) 私に来て

アマチ エアラキンネ エヤイコプンテク コロカ
a=maci earkinne eyaykopuntek korka

妻はとてもそのことを喜んだが

「エアラキンネ シサム ウェン ワ ヤイキラレアン ワ エカン シリ ネ ア プ
“earkinne sisam wen wa yaykirare=an wa ek=an siri ne a p

「とても和人がひどくて、一目散に逃げて来たので、

ナニ スイ アイオカフナラ ナンコロ クシ ネン カ ヤイキラレアン するべ」
nani suy a=i=okahunara nankor kus nen ka yaykirare=an SURUBE”

またすぐ私の後を探されるだろうからどこかへ逃げよう」

セコロ ハウエアナン コロ コント アコロ ワ アン
sekor hawean=an kor konto a=kor wa an

と私が言いながら私が持っている、

アミ パ プ ヘム アミ パ プ ヘム……^[4](?) アエヤイラメコテ プ アセ^[5]。
a=mi pa p hem a=mi pa p hem... a=eyayramekote p a=se.

私が着るものも、私(たち)が着るものも…… (?)、また生活用品も背負った。

アマチヒ カ ミ パ プ ネ ヤ セ ヒネ ポニケ アシカオマレ
a=macihi ka mi pa p ne ya se hine pon hike a=sikaomare
私の妻も着るものなどを背負って、小さい方を私が背負って、

オラノ ポロ ヒケヘ テケ アニ ウェン ウシケ タ カイ したり キ コロ
orano poro hikehe teke ani wen uske ta kay SITARI ki kor
それから大きいほうは妻が手を取った。歩きにくいところではおぶったりしつつ、

オラノ ペツ トウラシ パイエアン アイネ
orano pet turasi paye=an ayne
それから川沿いに上手へ行ったあげく、

ヒナク タ キム タ パイエアン コロ
hinak ta kim ta paye=an kor
どこか山へ行くと

ポロ ヌプリ エン (?) タ アニネ
poro nupuri en(?) ta an h_ine
大きな山にある木 (?)、

ポキ タ (?) シコタンコン^[6] ランコ アニネ
poki ta(?) sikotankor_ ranko an h_ine
下に太いカツラの大木があり

ネ ランコ チョロポツケ…… ケセ^[7] チセ オンナイ ネノ シラン ペ ネ イケ
ne ranko corpokke... kese cise onnay neno siran pe ne h_ike
そのカツラの下…、その端（木の根元）が家の中と同じような様子であったので

コント ネ ランコ トノ マッ アコロ ヤ オ ピ^[8] (?) アイェ コロ
konto ne ranko tonono mat a=kor ya o p h_i (?) a=ye kor
今度、そのカツラの女神様に私の持つ網を置くことを (?) 私は言いながら、

オラノ オロ タ アナン アイネ オロ タ オカアン オラノ オロワ アナン ワ
orano oro ta an=an ayne oro ta oka=an orano orowa an=an wa
それからそこにいたあげくそこに私はいて、それからそこにいたのであって

イラマンテアン ワ

iramante=an wa

狩猟をして

なんでもいい (?) シッポ カ サク ノ

NANDEMOII(?) sippo ka sak no

なんでもいい (?) 塩もなしに

アイヌ ネプ オカイ ペ ネ ムン カシ キ プ ネ⁹¹ (?) アイネ

aynu nep okay pe ne mun kasi ki p ne(?) ayne

アイヌは何であれ草でお払いをするので、そのあげく

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ アエアウナルラ。

yuk ne ciki kamuy ne ciki a=eawnarura.

シカであってもクマであってもたくさん獲ってきた。

アエ コロ オカアン ペ ネ ルウエ ネ アイネ

a=e kor oka=an pe ne ruwe ne ayne

それを食べて暮らしていたので、

ラポッケ タ ポロアン ルウエ ネ イネ アナン ルウエ ネ ア プ

rapokke ta poro=an ruwe ne h_in e an=an ruwe ne a p

その間に私(たち)は大きくなって、暮らしていたのだが

(萱野：ナ エハウエヘ ポロレ！)

(萱野：na e=hawehe porore!)

(萱野：もっと大きい声で)

ネ アナン ペ ネ ア プ ラポッケ タ

ne an=an pe ne a p rapokke ta

そうして暮らしていたのだが、その間

シネアンタ イエンカシ タ ポロ ヌプリ アン ペ ネ ア プ

sineanta i=enkasi ta poro nupuri an pe ne a p

ある時に私の目の前にそびえる大きな山があるのであって

ネ ヌプリ カ ウン エネ ハワシ。

ne nupri ka un ene hawas h_i.

その山の上からこのような声があった。

「パシクル…… パシクル ハウコロ アウエ アヌ カ ソモ キ ペ ネ ペ

“paskur... paskur hawkor h_awe a=nu ka somo ki pe ne pe

「カラスの鳴く声を聞いたこともなかったのだが

キム タ…… シアン キム タ アナク

kim ta... sian kim ta anak

山奥では

パシクル ハウコロ アウ アヌ カ ソモ ネ。

paskur hawkor h_aw a=nu ka somo ne.

カラスの鳴く声を聞くこともない。

パシクル ハウコロ ハウエ アヌ ペ きつと ネイ タ カ アナン ワ クス

paskur hawkor hawe a=nu pe KITTO ney ta ka an=an wa kusu

カラスが声を出して鳴くのを私は聞いたけれど、きつと、どこかに私（主人公）がいるので

パシクル ハウコロ ハウエ ネ ナンコロ」

paskur hawkor hawe ne nankor”

カラスが鳴いているのだろう」

セコロ ハワシ ハワシ コロ ラブ

sekor hawas hawas kor rap

と（和人が）話しながら下り

「ネンカ ラブ ヤク ピリカ ピリカ」

“nenka rap yak pirka pirka”

「誰かが下りると良いぞ」

セコロ ハワシ ハワシ アクシ

sekor hawas hawas akus

と話す

「アエニウケシ パ」

“a=eniwkes pa”

「下りられない」

ハウエアシ パ…… ルウエ ネ アクス シネ…… シネプ エネ アワニ。

haweas pa... ruwe ne akusu sine... sinep ene h_awan h_i.

と話していたのであるが、あるものがこのように話した。

「タ ラプ ウン…… ヤクン

“ta rap un... yakun

「そんなこと言うならば、

アシヌマ^[10] ヤクン ヤイカタ ラン ネク ラン ネク」

asinuma yakun yaykata ran nek ran nek”

そいつが、自分で下りろ」

セコロ カネ ハウエアシ ルウエ ネ アクス

sekor kane haweas ruwe ne akusu

と会話していたのであるが

インカラン オポソ キ アクス ネ ヌプリ コトロ

inkar=an oposo ki akusu ne nupuri kotoro

私が（辺りを）隙間越しに見まわしてみると、その山の斜面に

ウエンクッオンネ ウシケ アン ペ ネ ペ エウン

wenkutorne uske an pe ne pe eun

絶壁から、そちらに向かって

ネ ヌプリ キプカ ウン エネ ハウエ アシ クシ

ne nupuri kipka un ene hawe as kus

その山の上でこのような声があるので

オラノ ネア ランコ トノ マッ アノンノイタク

orano nea ranko tono mat a=nonnoytak

それから、そのカツラの女神に私は祈り、

イノンノイタカン コロ アナナ プ ヤクン

inonnoytak=an kor an=an a p yakun

祈り言葉を唱えていたら、そうしたら、

「シヌマ ラン ネク ラン ネク」

“sinuma ran nek ran nek”

「そいつが下りろ」

セコロ ハワシ パシクル イワ セコン レヘ アン ペ ネ ア プ

sekor hawas paskur iwa sekor_ rehe an pe ne a p

と、そうする声がして、カラス山という名の山だが、

「ネ ワ アン ペ ラン ヤクン アシヌマ ラナン クス ネ ナ」

“ne wa an pe ran yakun asinuma ran=an kusu ne na “

「そいつがを下りたら私も下りるのであるのだが」

セコロ ハウエアン コロ ラン ハウエ アシ ルウエ ネ ヒネ ラナクス

sekor hawean kor ran hawe as ruwe ne hine ran akusu

と話しながら下りる声がして下りると

コ…… (?) ハンケノ ラン テク コン ネア ピラ ルッコサヌ ヒネ

ko...(?) hankeno ran tek kor_ nea pira rutkosanu hine

近くに下りると、その崖が崩れ

ナニ ネ しっかり トイ トウム オシマ ワ イサム ルウエ ネ イネ アクシ

nani ne SIKKARI toy tum osma wa isam ruwe ne h_ine akus

すぐにすっかり土の中に落ちていなくなってしまうと、

オラ コント ネプ ハウ カ イサム ネプム カ イサム ス……

ora konto nep haw ka isam nep h_um ka isam su...

そして今度は、何の声もしない何の気配もない。

コント オピッタ ホシッパ ノイネ ネプ ハウ カ イサム ヒ クス

konto opitta hosippa noyne nep haw ka isam hi kusu

今度は、皆帰ったらしく、何の声もしないので、

オラ コント

ora konto

そして、今度は

「タ エタ サパン ロ」

“**ta h_eta sap=an ro**”

「さあ下りよう」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と私は言い、

オラ スイ アコロ ソン アク…… ウタラ

ora suy a=kor son ak... utar

すぐに私の子どもたちを

アカイ ウサ キ ワ ウユイケ (?) アセ ヒネ

a=kay usa ki wa uyuyke(?) a=se hine

背負いもし、

オラノ サパニネ アウニ タ オカアン ヒネ オラ……

orano sap=an h_inine a=uni ta oka=an hine ora...

それから私達は下りて、家において

オロワ スイ イシカラ プトゥ タ サナナクシ

orowa suy Iskar putu ta san=an akus

そこから、また石狩の河口に私が下りると

「エアラキンネ エ…… イケムヌ」

“**earkinne e... i=kemnu**”

「本当に気の毒だ」

アウココカラバ^[11]

a=ukokokarpa

と皆（和人たち）に囲まれて

「エネ アエランポキウエン エネ アエケムヌ フミ アナ プ
“ene a=e=erampokiwen ene a=e=kemnu humi an a p
そのようにかわいそうに気の毒に思っていたのだが、

エネ イキアン」
ene iki=an”

あのように（ひどい仕打ちを）した」

セコロ ハウオカ コロ キ パ ヒネ コント オロ タ オカアン ワ
sekor hawoka kor ki pa hine konto oro ta oka=an wa
と話しながら皆そうして、そこにいて

オロワ エキムネアン ワ ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
orowa ekimne=an wa yuk ne ciki kamuy ne ciki
それから山に行つて鹿であってもクマであっても

アルラ したり キ コロ ネ ルシヒ アセ ワ
a=rura SITARI ki kor ne rusihi a=se wa
私が運んだりしながら、その毛皮を背負つて

サナン コロ キ ワ エアラキンネ イウコエランポキウエン パ ア……
san=an kor ki wa earkinne i=ukoerampokiwen pa a…
浜の方へ行きながらして、とてもかわいそうに思われながら、

オラノ アナクネ ネア イ ネノ シサム ウエン カ ソモ キ ヒネ
orano anakne nea h_i neno sisam wen ka somo ki hine
それからはあの時のように悪い和人もなく

シサムコマウコピリカアン エアラキンネ キ ワ
sisamkomawkopirka=an earkinne ki wa
和人とのかき合いも良好になつて、そうして

オラノ アウタリ ヘネ イエウコペカペカ パ ワ
orano a=utari hene i=ukopekapeka pa wa
そして私の仲間もまた、みんなで私を大事にして

ネプ アエシリキラプ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ
nep a=esirkirap nep a=kor_ rusuy somo ki no
何不自由することなく

オラ スイ ポコラン ワ アポ ウタリ オカ ルウェ ネ ワ
ora suy pokor=an wa a=po utari oka ruwe ne wa
そしてまた、私は子供ができて、子どもたちもいて

オラノ エアシリ ポ パロイキ マツ パロイキ
orano easir po paroyki mat paroyki
そして、それこそ本当に子供と妻に食べ物を与えて養うことを

アキ コロ アナン アイネ タネ オンネアン ルウェ エネ アニ ネ クス
a=ki kor an=an ayne tane onne=an ruwe ene an_hi ne kusu
私はしながらいたので、今は年老いてそのようにあるので

アポ ウタリ アエパシクマ セコロ。
a=po utari a=epaskuma sekor.
私の息子たちに言い伝えを語り伝えるのだと。

【注】

- [1] 音は tuntak のように聞こえるが、sontak と解釈した。
- [2] RYOBA pirka itak と聞こえるが文法的には破格である。
- [3] ne wa... okerpa と聞こえるか？ 私（主人公）が仕事を終えて帰って来たと妻が思っ
て妻が喜んだという意味合いで言っていると思われる。
- [4] a=mi pa p hem... と聞こえるか？
- [5] 音は asi のように聞こえるが、a=se と解釈した。
- [6] sikotankor の可能性も考えた。 si-kotan-kor-ni で太い樹木（『萱野辞典』）
- [7] 木の根元という意味で kese を使っているか？
- [8] a=kor ya o p h_i と聞こえるが、文脈とつながっていない。意義不詳。
- [9] mun kasi ki p ne と聞こえるが、mune kasi kik (pe) ne 「草でお払いをした」と解し
た。
- [10] asinuma 「私」と聞こえるが、文脈から sinuma 「彼・彼女」と解した。
- [11] ここで私(主人公)を取り囲んでいる和人は、山まで主人公を追いかけて来た和人(役
人)ではなく、私(主人公)と共に漁場で下働きしていた和人たちと思われる。